



新 水沢消防署金ヶ崎分署庁舎

この間、統合の目的でありました総合的かつ効率的な事務の共同処理を推進し、構成市町の住民サービスの向上に努めてまいりました。

平成20年度は、総務、財政、企画等の共通事務の一元化を図り、効率的な事務事業を実施するため、新体制の中で「奥州金ヶ崎行政事務組合 組合運営指針」を策定し、組合が抱える重要課題、事案等について、総合的に協議、検討してきたところであります。

具体的には、統合したことにより議会、監査、旧水道企業団事務所経費などを削減し、退職手当の

削減を図り、平成21年度第1回例会が開会されるにあたり、平成21年度の組合運営の基本方針及び主要な施策について、管理者として所信の一端を申し上げ、議員各位並びに構成市町の住民の皆様への御理解と御協力をお願い申し上げます。

奥州市、金ヶ崎町で構成しておりました、胆江地区広域行政組合、胆江地区消防組合及び胆江広域水道企業団の3つの組合が統合し、「奥州金ヶ崎行政事務組合」として発足し、1年が経過いたします。

本日ここに、平成21年第1回奥州金ヶ崎行政事務組合議会定例会が開会されるにあたり、平成21年度の組合運営の基本方針及び主要な施策について、管理者として所信の一端を申し上げ、議員各位並びに構成市町の住民の皆様への御理解と御協力をお願い申し上げます。

奥州市、金ヶ崎町で構成しておりました、胆江地区広域行政組合、胆江地区消防組合及び胆江広域水道企業団の3つの組合が統合し、「奥州金ヶ崎行政事務組合」として発足し、1年が経過いたします。

平成21年度施政方針



奥州金ヶ崎行政事務組合
管理者 相原正明

組合統合による財政的効果額(5カ年)

名目的な効果額 163,750千円
 統合に伴う費用 14,594千円
 実質的な効果額 149,156千円

単位：千円

当初見込み		統合後	
効果額	金額	効果額	金額
議員報酬	3,610	議員報酬	3,610
監査委員報酬	630	監査委員報酬	630
事務所経費等	9,270	事務所経費等	9,270
執行体制(派遣管理職の兼務)	50,000	執行体制(派遣管理職の兼務)	51,974
		総合事務組合負担金	98,266
合計	63,510	合計	163,750
費用		費用	
金額	金額	金額	金額
設備関係	9,530	設備関係	8,103
事務OA機器	4,376	事務OA機器	3,938
事務所移転費等	1,294	事務所移転費等	2,553
合計	15,200	合計	14,594
実質的な効果額	48,310	実質的な効果額	149,156

当初、統合に伴う財政的効果額（5カ年）として、組織のスリム化等による名目上の効果額 63,510千円から新たに発生する費用15,200千円を差し引いた48,310千円を実質的な効果額として見込んでおりましたが、統合後の職員数が200人を越えることにより、新たに総合事務組合負担金の減額効果が加わり、名目的な効果額が163,750千円、統合費用14,594千円を差し引いた149,156千円が実質的な効果額となります。

この効果額は、構成市町における産業、福祉等の諸施策の財源として、より住民サービスの向上につながります。

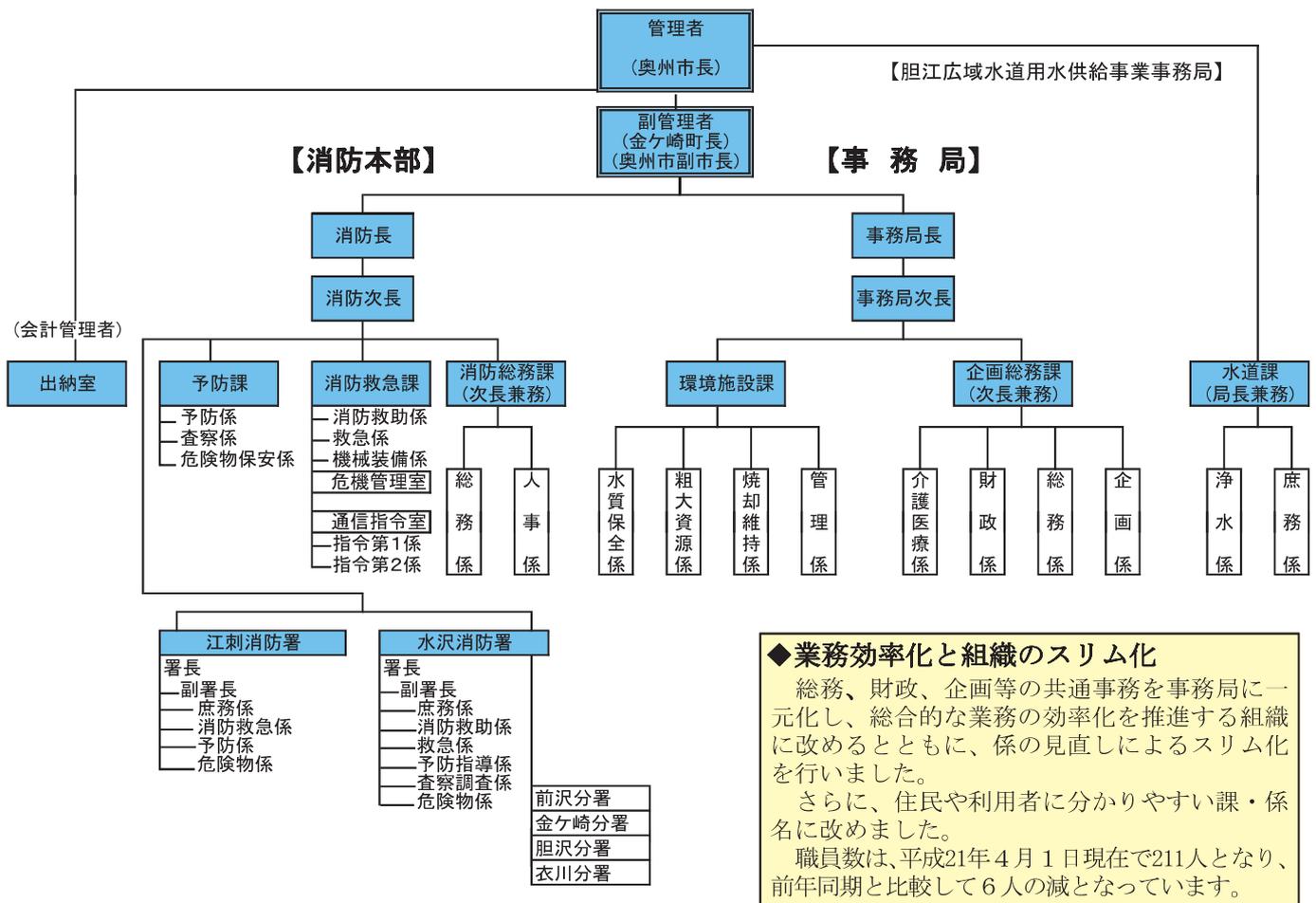
一般負担金が減額され、さらには人的効果においては、消防本部職員2名を総務部門から本来の予防業務に、最終処分場整備に当たっては専門性の高い職種（土木技師）を、それぞれ振り向けることができたことなどのさまざまな統合の効果が顕著に表れております。

国においては、合併の進展、行政圏を構成する市町村数及び市町村の姿の変化等に対応するため新たに定住自立圏構想推進要綱を定めたところであり、従来の広域行政圏及びふるさと市町村圏の枠組み並びに施策についても、構成市町の基本的な考え方に基づいて、業務を推進してまいります。

実質的初年度となる平成21年度は、時代の変革に対応した重要課題の業務の推進手法を検討し、行政改革を進めながら組合が抱えている「後期消防力の整備」、「衛生センターの維持管理運営」、「胆江広域水道用水供給事業」、「仮称リサイクルセンターの整備構想」などの事業を順次整理し、「職員等の定員管理計画及び財政計画」との整合性を保ちながら、優先順位を定め、施策の実施計画を平成21年度上期までに示すことを目標とし、構成市町分担金の縮減に努めるとともに、特に投資的業務等についてはある程度、年度ごとに分担金の平準化ができるような組合運営を進めてまいります。

次に、平成21年度予算についてであります。組合統合後最初の予算編成であり、重要課題の検討及び通常業務（共同処理事務）の

新奥州金ヶ崎行政事務組合行政組織図



推進を図るとともに、可能な限り構成市町の分担金の縮減を目標とし、厳しい財政状況の中、あらゆる分野の歳出の見直しを行い、構成市町分担金について前年度を下回る緊縮予算としております。

まず、歳入につきましては、胆江地区衛生センター施設維持整備等基金及び消防施設整備基金の廃止による基金繰入金金の増額、また行政財産の貸し付けに係る収入の確保等をいたしております。

歳出につきましては、最終処分場整備事業の本格工事着手による事業費の増額、岩手クリーンセンター灰処分地使用料、工業薬品の高騰、電気料金の改定等、負担の増が見込まれますが、より効率化をめざし編成いたしております。

以下、平成21年度の重点施策について申し上げます。

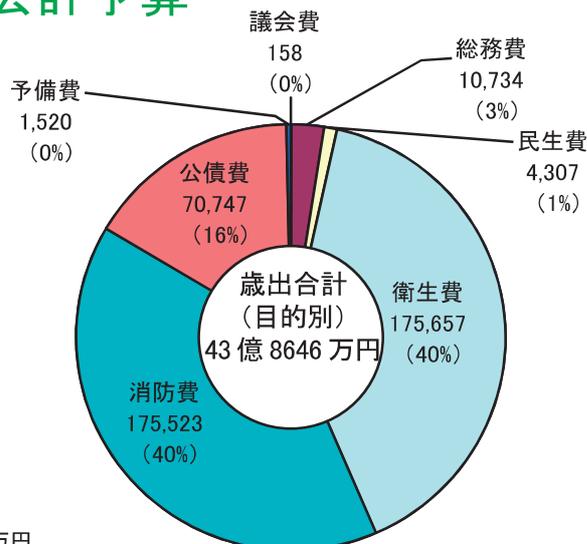
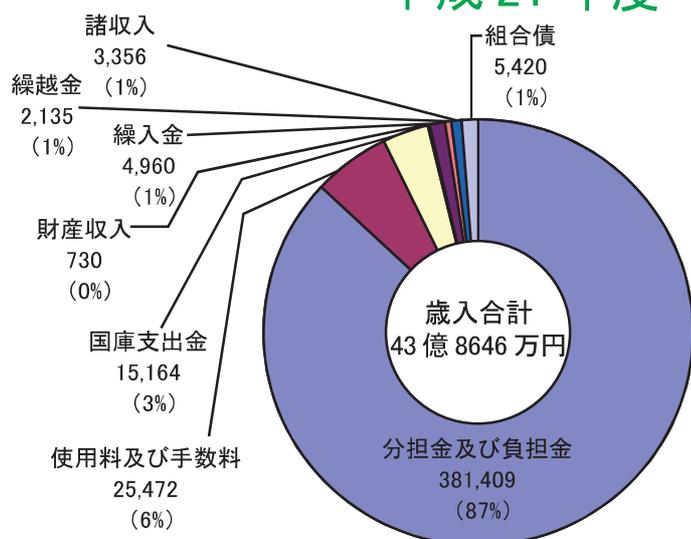
まず、初年度に実施しました事務事業の一元化を基礎として、平成21年度は、より効率的な組織運営をめざし組織改編を行います。

この中で、事務局の体制の整備と消防本部の消防力の強化に努め、職員一丸となった一層の協調体制を構築し、事業を展開してまいります。

また、介護認定審査業務に専門の嘱託員の配置を行うなど、統合の所期の目的が達成できる組織体制の確立を図ってまいります。

次に、一般廃棄物最終処分場整備事業につきましては、ごみ処理等の環境行政が、大量生産、大量廃棄の時代から減量化、資源化の方向へ転換され、安全かつ適正に処理されることが、近年特に強く

平成21年度一般会計予算



単位：万円

平成21年度予算の概要

平成21年度予算は、実質的に組合統合初年度の予算となります。工業薬品の高騰、灰処分地使用料及び電気料金の改定や最終処分場本体工事着手による事業費が大幅に増加する中、統合効果及び事務事業を見直し、歳出削減に努め、予算総額43億8646万円（前年度に比して2億5069万円、5.4%の減）及び市町分担金とも対前年度を下回る予算となりました。歳入については、財源の中心である構成市町からの分担金が38億1409万円、前年度に比して6199万円、1.6%の減、使用料及び手数料は、廃棄物の資源化やリサイクルなどが進んだことから2億5472万円、14.0%の減、国庫支出金は、最終処分場の本格工事により1億5164万円、21.7%の増、組合債は、水沢消防署金ヶ崎分署整備事業の完了により、5420万円、31.4%の減となっております。

歳出については、衛生費が最終処分場の本格整備により17億5657万円、前年度に比して32.7%の増、安全で安心な生活を守るための消防費は17億5523万円、17.5%の減、組合債の償還に充てる公債費は7億747万円、25.7%の減となっております。

歳出(性質別)比較表

単位：万円

性質別歳出	21年度	20年度	増減額	
経常的経費	人件費	186,869	198,071	△11,202
	公債費	70,747	95,184	△24,437
	物件費	59,505	64,007	△4,502
	維持補修費	20,095	19,127	968
	補助費等	1,630	1,898	△268
	予備費	1,520	7,014	△5,494
	合計	340,366	385,301	△44,935
投資的経費	普通建設事業	98,280	78,414	19,866
歳出合計	438,646	463,715	△25,069	

性質別では、経常的経費が、人件費、公債費の減等により、34億366万円となり、前年度に比して4億4935万円、11.7%の減となり、投資的経費は、最終処分場整備事業費、消防施設費が主なものであり、9億8280万円となり、1億9866万円、25.3%の増となっております。

主要事業

各種計画策定事業	
文書ファイリングシステム及びグループウェア導入事業費(新規)	150万円
ごみ焼却処理施設維持補修工事(継続)	6,493万円
し尿処理施設維持補修工事(継続)	1億3,157万円
最終処分場整備事業費(継続)	6億1,117万円
新型インフルエンザ感染対策セット(新規)	50万円
消防施設費(継続)	1億6,716万円

胆江地区ふるさと市町村圏基金 特別会計

予算総額は、818万円です。前年度に比して、運用益の増により165万円、25.4%の増となっております。

主要事業は、ふるさと市町村圏基金広域振興支援事業費(継続)250万円です。

胆江広域水道用水供給事業会計
収益的収入は、3億3244万円で、収益的支出が、3億1912万円です。資本的収入は、7億1688万円、資本的支出が、7億6492万円となっております。なお、資本的収支の不足額は、内部留保資金で補てんするものです。

主要事業は、水道用水供給導水管整備事業費(継続)8068万円です。

(施政方針の続き)

求められる中、環境に配慮し、地域住民から理解が得られる最終処分場として計画的に事業を進めてまいり、本年3月に着工する運びとなりました。



最終処分場工事安全祈願祭(平成21年3月18日)

構成市町の住民の生活環境の向上と美しく住みよい郷土の発展に貢献すべく、平成22年度の供用開始をめざし、本格的に工事を進めてまいります。
次に、衛生センターでございますが、ごみ処理施設、し尿処理施設とも今後の適正かつ効率的な管理運営手法を検討するため、「衛生センターの維持管理運営計画」を作成し、今後の衛生センターのあるべき姿の方向性を示してまいります。また、粗大ごみ処理施設につきましては、昭和55年3月の竣工以来、29年が経過しており、設備等の老朽化が著しいため、(仮称)リサイクルセンターの整備に向けた調査を進めてまいります。



AED等応急手当訓練指導

次に、消防行政であります。昨年6月14日の岩手・宮城内陸地震災害に対しましては、関係団体等と連絡を密にし、他の消防本部からの応援をいただきながら、二次災害も懸念される中、消防本部一丸となって人命救助等に当たったところであり、災害時における消防行政の役割の大きさを改めて認識させられました。
一方、当組合消防本部管内における火災の発生も増加傾向の状況にあるところであり、このような諸情勢を踏まえ、住民要望等を十分に考慮し、予防業務においては、引き続き住宅用火災警報器の設置普及を推進し、住宅の防火安全対策の強化を、消防救急業務においては、機動力の向上をめざし消防職員の人材育成とともに、災害出動体制の強化と消防車両の更新整備に努めてまいります。さらに、救命率の向上を図るため、救急救命士の養成はもとより、AEDを含めた住民に対する応急手当の普及啓発を推進してまいります。

■岩手・宮城内陸地震を経験して

奥州市、金ケ崎町に大きな被害をもたらした岩手・宮城内陸地震から1年を迎えます。



地震による道路損壊

この地震では、死傷者が発生し、家屋や道路の損壊も相次ぎました。突然襲ってくる災害の恐ろしさを風化させることなく、日頃から災害への備えを行っておきましょう。

- ◇地震対策は地域ぐるみで
 - 家屋や塀の強度を確認
 - ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしましょう。
 - ・ブロックやコンクリートの塀は、倒れないように補強しましょう。
 - 家具類の転倒防止
 - ・転倒防止のため、家具やテレビ、パソコンなどを固定しておきましょう。
 - 通路や出入り口に荷物を置かない

ここにも注意!



ホームタンクの転倒による灯油の漏えいを防ぐためにタンクの脚は、必ず固定しましょう。

・いざというときの避難路を確保するために、通路や出入り口に荷物を置かないようにしましょう。

○非常用品の備え

・非常食や飲料水(1人1日3リットルが目安)、停電やガス停止に備えて懐中電灯や簡易ガスコンロなどを備えておきましょう。

○防災行動力を高めておく

・日頃から防災訓練などに参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておきましょう。

地震のような大規模災害時には、地域住民で結成された『自主防災組織』が、被害の拡大を防ぐ重要な存在となります。現在、奥州市と金ケ崎町では自主防災組織の育成・強化に努めています。





たんこう浄水場

近年、住民の安全・安心に対する関心は一段と高まりを見せ、消防行政に寄せられる期待は、益々大きくなっており、さらには、消防法改正による指導強化や新型インフルエンザなどに対する新たな対応策が強く求められているところであり、「後期消防力整備計画」の策定に当たっては、前期消防力整備計画策定時の経過も踏まえ、国の『消防力整備指針』に沿って、地域の実情に即した適切な消防体制の確立をめざし進めてまいります。

次に、胆江広域水道用水供給事業につきましては、平成20年度から暫定的に供給を開始したところでありますが、平成26年度に予定している本格的な用水供給に向けて、事務局内に胆江広域水道用水供給事業計画検討委員会を設置し、今後の水需要等の調査、検討を行っております。

この中で、浄水場の第2期以降の規模及び整備時期を総合的に調査、検討を行い、これからの整備計画を定めるとともに、事業の効率化と健全な経営に努め「安全、安心、おいしい水」の供給をめざしてまいります。

胆江地区広域交流センター
奥州市水沢区佐倉河字仙人127番地 TEL24-6644

交流センターは、ごみ焼却施設の余熱を利用して館内の暖房、プール、大浴場、大広間、会議室、研修室があり、屋外施設としてグラウンドゴルフ場、テニスコート等が整備されています。入場料は、一般(中学生以上)が300円、児童が100円、そのほか回数券もありますので、お気軽にご利用ください。

胆江地区休日診療所
奥州市水沢区字多賀21番地の1(奥州市医師会館内) TEL25-3935

- ◆ 診療日・・・日曜日、祝祭日、1月2日、3日
- ◆ 受付時間・・・午前9時30分から午後3時45分まで
- ◆ 受診の手続・・・窓口には保険証を提示してください。
- ◆ 診療科目・・・内科・外科

以上が、平成21年度の当組合の重点施策の主なものでありますが、更に、今日の喫緊の課題である経済活性化、雇用確保対策についても構成市町の取組みと呼応しながら努めてまいります。私といたしましては、平成20年4月の3組合統合による新組合発足の目的達成のため不退転の決意をもって、一歩ずつ業務を軌道にのせ、構成市町から託された業務の適切な運営と、住民の福祉の向上につなげるべく、渾身の努力をしております。

重ねて、議員各位並びに構成市町の市民、町民の皆様方の力強い御支援、御協力をお願い申し上げます。

新 水沢消防署金ヶ崎分署庁舎落成



ホース乾燥施設兼訓練塔



多目的研修室

新水沢消防署金ヶ崎分署庁舎落成式を5月22日、午前10時から行いました。新庁舎は、金ヶ崎町都市計画街路荒巻中針線に面し、町立金ヶ崎中学校、森山総合公園の反対側の町有地に新築移転したものです。

ホース乾燥施設兼訓練塔の設置、住民を対象にした救命講習会や防災研修ができる多目的研修室、消防団の訓練スペースの確保など近代的消防庁舎として完成しました。本来業務の更なる充実とともに今後地域防災拠点としての利用が期待されます。



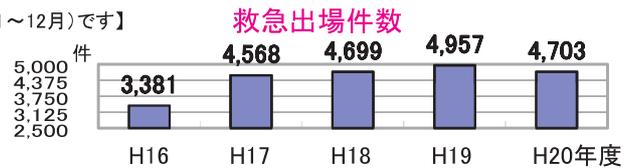
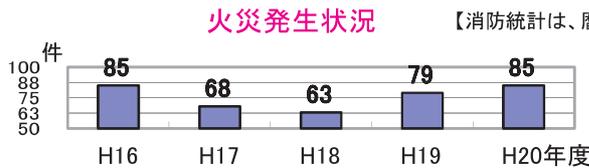
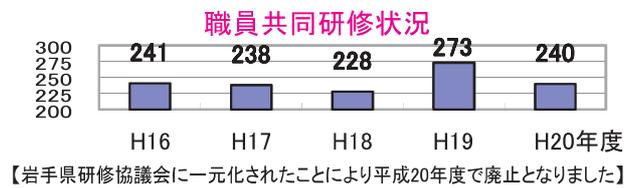
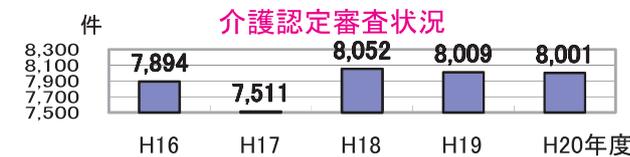
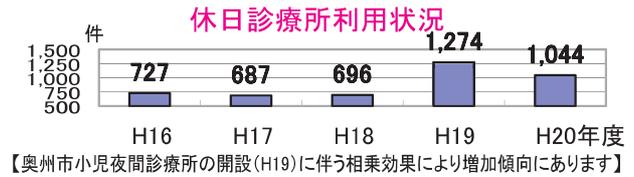
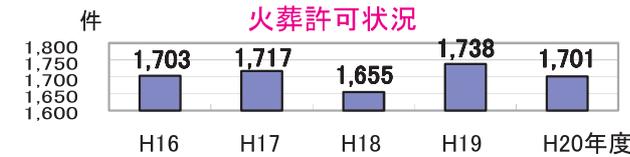
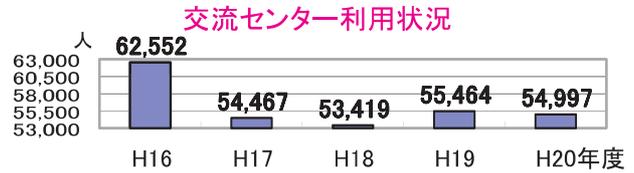
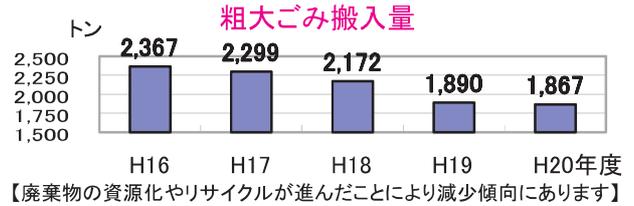
車庫

所在地 金ヶ崎町西根北宿内78番地1
敷地面積 7,456.5㎡
構造 鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積 775.233㎡
延床面積 729.105㎡



事務室

平成20年度組合運営事業(搬入量・利用者数・火災件数等)についてお知らせします。



information

衛生センターから

◆第3日曜日のごみの受け入れについて

毎月第3日曜日は、家庭ごみに限り直接センターに搬入できません。受け入れ時間は、午前8時45分から午前11時45分までで、搬入料金は、次のとおりです。

- ・100kgまで500円
- ・200kgまで1,700円
- ・300kgまで3,600円
- ・400kgから100kgごとに1,200円加算

◆廃家具類の再利用について

搬入された廃家具類は、再利用を希望する方に無料で引き渡しを行っています。

■お問い合わせ先

Tel 2415821

◆汚泥肥料の無料頒布について

環境施設課粗大資源係し尿処理施設から発生する汚泥肥料を希望の方に無料でお分けしています。頒布は、1袋15kg入り、1世帯20袋までです。

在庫をお問い合わせのうえ、おいでください。

■お問い合わせ先

Tel 2415821

環境施設課水質保全係

◆ごみの出し方

*台所から出るごみは、よく水を切ってください。

*燃えるごみ・燃えないごみをきちんと分けてください。

*捨てる前に、まだ使用できる物は、大事な資源として、再利用、リサイクルできるか、もう一度考えてみましょう。

*スプレー缶や油等の入っている容器は、爆発事故等が発生することがあります。必ず使い切った穴をあけて出してください。

消防本部119から

◆救急講習を受講しましょう！

目の前でも人が倒れたら...、あなたは手をさしのべることができずか？一刻を争う救急現場では、居合わせた人の応急手当が必要です。消防署では、定期的に救急講習会を開催しています(無料)。事前に申し込みが必要です。最寄りの消防署までご連絡ください。

■お問い合わせ先

Tel 2417211 水沢消防署救急係

Tel 3518119 江刺消防署消防救急係

普通救命講習会日程

日程	実施場所
6月20日(土)	胆沢区 胆沢総合福祉センター
7月12日(日)	水沢区 水沢消防署3階講堂
8月23日(日)	衣川区 水沢消防署衣川分署
9月12日(土)	金ケ崎町 森山総合公園生涯スポーツセンター
10月10日(土)	水沢区 水沢消防署3階講堂
10月18日(日)	江刺区 江刺消防署3階会議室
11月15日(日)	前沢区 水沢消防署前沢分署
12月6日(日)	胆沢区 胆沢総合福祉センター

平成21年災害情報(4月30日現在)

災害種別	件数	前年比	備考
火災	34	-6	火災の件数は減少しているものの、火災による死者は、前年比3名の増となっています。大切な命を守るため、今一度、火の元を確認しましょう。
死者	4	+3	
救急	1,493	-48	
救助	22	-2	

編集後記

組合統合から1年を経過し、実質的統合初年度のスタートを切り、組合職員一丸となり、組合事業に取り組んでいます。

今回の広報は、施政方針、新年度予算、水沢消防署金ケ崎分署庁舎の落成などを中心に掲載しましたが、次号は各施設などの紹介もしていきたいと考えています。(S)